

## 令和2年度長崎県剣道連盟春季居合道講習会報告

令和3年3月28日(日)長崎市立福田中学校体育館において、恒例の令和3年度長崎県剣道連盟居合道部春季居合道講習会が開催されました。

本年度の居合道部の行事が新型コロナウイルス感染拡大対策のために講習会、大会など中止となる状況が続きました。昨年9月伝達講習会代替え講習会、昨年10月の段位審査後の講習会を実施しました。本県居合道部では居合道講習会、審査会のガイドラインを昨年6月中旬に長崎県剣道連盟に提出し、本講習会の準備をしてきました。検温、消毒、健康管理、マスク、熱中症対策、考えられる詳細まで対応しました。

午前中は高木志伸居合道部長より居合道春季講習会資料をもとに「コンプライアンス」「居合道修業の目的」、「気剣体の一致」「正座の姿勢と座礼」全日本剣道連盟居合(解説)書」をもとに講義が40分ほどありました。その後居合道七段の先生方より全日本剣道連盟居合(解説)の要義、動作、着眼点と昇段審査についての心構えについて実技を伴い詳しく説明がありました。

午後からは引き続き居合道講習会と居合道一級審査会が開かれました。午後は12:45から15:30まで午前中の実技講習会に基づき講習会があり、最後には班ごとに講習会の成果発表ということで班別に全日本剣道連盟居合を演武しました。参加者は段外4名、初段1名、二段3名、三段2名、四段3名、五段10名、六段4名、七段11名、の合計37名の参加でした。

令和3年4月4日(日)に諫早市小野体育館において開催される春の段位審査会を前に、受審予定者は例年に比べいっそう高い意識を持って講習会に臨んでいました。

一級審査合格者 Pavkov,Mark (葉遊会)、渡邊孝士郎 (友剣会)、藤安美晴 (剣倫会)

### 受講者感想「講習会に参加して」

#### 四段 中村政樹 (西彼長与：修道塾)

久々の講習会でした。講習会は講話から始まり各段に別れてからの実技講習からの審判講習でした。そして、最後は一級審査となりました。講話の話の中で「生活の中での居合」などの話は特に印象深く感じました。実技講習では、皆さんコロナ禍で練習不足を感じました。審判講習では旗の上げ方、角度、タイミング、合議、礼など基本動作の確認などの講習のあと、全員での模擬試合でした。今回、私は少ししたところのチャレンジをしてみたのですが、やらなければ良かったと思う反面やってみて怒られて良かったと思いました。何事も失敗をおそれずチャレンジし挑むことが大事だと感じました。

高木志伸先生をはじめ居合道の先生方、そして、今回の講習会の受講の機会をつくって下さった方に感謝したいと思います。

#### 三段 中野武士 (大村：生武館)

午前中の座学では、居合道修行者としての心構えや日々生活のなかで意識する事の大切さを実感致しました。また、無双直伝英心流の歴史や先生方の指導のあり方など大変勉強になりました。実技講習は段別に別れてのものでしたが、講師の先生から敵を意識して技の理合を考えること、すべての動作で胆田を意識する事により、体軸が崩れにくく安定する事を学びました。最後に審判講習では試合形式の演武をしましたが、講習で学んだ事を意識した演武をする事が出来ました。とても学びの多い充実した1日となりました。講師の先生方、長崎市の先生方、コロナ禍で大変な時期にありがとうございました。

## 二段 谷口悟（諫早 神伝会）

「春季講習会」に参加した感想を述べたいと思います。四人の受講生と七段の先生の指導を受けました。

「剣の理合、相手との間合い、動きの緩急、重心の位置、手の内、一人よがりの動き、切っているのか、切れるのか」先生の居合道にかける情熱が伝わる一日でした。「出し惜しみはしない」その言葉に応えられたのが心配です。疑問を余り持たず稽古をしていた身を反省し、これからの稽古に活かして行きます。継続は力なりを信念に稽古を続けて参ります。

### 【春季居合道講習会の様子】

	
検温と消毒をする受講者	入口には垂れ幕「長崎県居合道審査会々場」
	
一本目「前」の指導を受ける受講生	一本目「前」鞘引きの指導を受ける受講生
	
携刀姿勢について説明をする講師	フェイスシールドを付けて一級審査